



# きかい

4

No.526

## CONTENTS

東北地方太平洋沖地震が発生しました…… P2  
 平成23年度施政方針(全文) …………… P3  
 シマの話題その1  
 (“元”役場職員宮崎県副知事に 他) …… P8  
 町職員人事異動……………P16  
 シマの話題その2(俊寛ジョギング 他) …P17  
 戸籍の窓・喜界歌壇……………P18  
 島に咲く花……………P19  
 母校訪問 ー第1回・阿伝小ー ……………P20

美しくも優雅に舞う

“南の島の貴婦人”

撮影  
吉行秀和

## 表紙説明

島が生息北限の日本最大級のチョウ・オオゴマダラ。そのサナギは黄金色に輝き、さながら純金のオブジェのようだ。

平成元年、当時としては珍しい自治体による自然保護条例「オオゴマダラ保護条例」が制定された。この条例を起案したのは、8ページで紹介する宮崎県の牧元幸司副知事である。

今月号から印刷会社が変わり、誌面もリニューアルしました。

※このページに明らかな間違いが1ヵ所あります。わかるかな？

# 平成23年(2011年) 東北地方太平洋沖地震が発生しました

3月11日、国内観測史上最大となるマグニチュード9.0の巨大地震が発生しました。

この地震により、東北地方から北関東までの太平洋沿岸にわたり、筆舌に尽くしがたい大災害が起きました。さらには原子力発電所が大変憂慮する事態となり、その周辺は避難勧告地域となるなど、いまなお予断を許さない状況が続いています。

このような国難といえる未曾有の大震災に対し、本町としても国や県をはじめとする関係機関と連携を図りながら、できる限り被災地・被災者への支援をしておりますので、町民皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

無念にも犠牲となられた方々に哀悼の意を捧げ、被災地の一日も早い復興と、すべての被災者の方々が一刻も早く心の平穏を取り戻し、安心安全な日常がふたたび訪れることを、町民の皆さまとともに、衷心よりお祈り申し上げます。

喜界町長 加藤 啓雄

## できることを、できる範囲でしよう

多くの町民の皆さんが、「被災された人たちの役に立ちたい」と考えていると思います。遠く離れたわたしたちには、ボランティア作業をしたくても、時間や旅費のこと、現地での宿泊や食料などの問題があり、「誰でも」というわけにはいきません。

そこで考えられるのは、支援物資や義援金を送ることです。ただ、輸送にかかる費用や、貴重なボランティアスタッフが中継地や現地で、物資の荷分け作業をしなければならないことなどを考えると、義援金を送ることが、よりよい選択と思われます。

では、「どうやって義援金を送ればいいのか」となると、もっとも手軽で経費がかからない方法は、島内各所に設置してある募金箱を利用することです(下記参照)。また、金額が大きい場合には、新聞紙上やテレビ放送で呼びかけている企業や、福祉団体の郵便振替口座・銀行口座に振り込む方法もあります。さらに、両親や家族を亡くした「震災孤児」の生活費や学費、心のケアを支援する「あしなが育英会」など、用途を限定する団体もあります。

心のこもった義援金に金額の大小はありません。また、時間につれて義援金は集まりにくくなります。「もう募金した」「今はできない」という方々も、急ぐ必要はありません。いつでも、できる範囲内での支援をしましょう。

### 【募金箱設置場所】

役場玄関ロビー／早町支所／町社会福祉協議会  
／Aコープ喜界店および早町店／ふくり／喜界島おみやげセンター／よねもりストア／グリーンストア／向井商店(志戸桶)／藤崎商店(荒木)／まつだ坂嶺店／アイショップ／喜界ガーデンゴルフ／空港売店(以上15カ所)

※お預かりした義援金は、日本赤十字社を通じて、被災者へ公平平等にお届けいたします。



募金箱 (役場玄関ロビー)

施政方針 (全文)

-平成23年度の基本方針-

小中学校・幼稚園について、充分に話し合いを重ねながら統合を進める  
 本町経済の根幹を揺るがすTPPについて、県や他市町村、関係機関、町民と共同歩調で  
 常に「目線を町民と同じ高さに置き」ながら、町政全般を推進する

平成23年第1回町議会定例会は3月8日に開会し、加藤啓雄町長は平成23年度の施政方針を述べました。施政方針は、今後一年の町行政についての基本方針を、町議会をおして町民へ向けて表明するものです。ここで、町民の皆さまへ施政方針の全部を掲載いたします。



加藤啓雄町長 (中央)

平成23年第1回町議会定例会は3月8日に開会し、加藤啓雄町長は平成23年度の施政方針を述べました。施政方針は、今後一年の町行政についての基本方針を、町議会をおして

町民の皆さまへ施政方針の全部を掲載いたします。ここで、町民の皆さまへ施政方針の全部を掲載いたします。

や米国の経済を中心とする先行きを巡る不確実性の高まりと、そのことを背景とした為替相場や株価の不安定な動きなどにより、経済の先行き不透明感は拭いきれていません。

このような厳しい経済状況の中、我々地方自治体も一層、自助努力を進めていかなければなりません。

昨年10月、奄美大島を襲った記録的な豪雨は、ライフラインの寸断のみならず、生命・財産を失うなど未曾有の災害となりました。本町からも行政や各関係機関から、自主的にボランティア活動へ参加をしておりますが、被災地の一日も早い復興を願っているとさせていただきます。

や町民の皆様のおかげで、健全財政を維持しているところであります。

しかしながら、決して楽観視することなく、今後も行政改革を更に推進してまいります。

現在も、補助金の見直し、職員定数の削減、特別職の給与カットなどを筆頭に多くの改革を同時に進めております。

昨年は、宮崎県で発生した口蹄疫により、本県においても肉用牛等の移動制限により、子牛せり市が開かれないなど、畜産農家経営に大打撃を受けたことは既にご周知のとおりでございます。また、全国でもトップブランドの宮崎牛の種牛が殺処分される中、本町におきまして県有種牛を守るための分散飼育を受け入れ、本県の貴重な財産を守る一役を担ったところであります。

本町の明るい話題といたしましては、本町経済の根幹を担うさとうきびが今期も収穫量9万トンと予想され、三期連続の豊作による地域経済の活性化に期待をしております。

平成23年度も本町の美徳でございます「まごころと信頼の絆で興す町づくり」の実現に向け、議会及び町民の皆様と一体となって、町勢発展に努めて参る所存でございます。

新たな産業の問題として現政権が打ち出した平成の開国といわれるTPP問題があります。本町におきましては、さとうきび産業が関税等と連動していることから大打撃を受けるだけでなく、本町経済の根幹を揺るがす影響も甚大と考えられます。

冒頭でも述べましたように、国政の変化により地方行政においても、将来の見通しについては、不透明感が拭い切れず、厳しい状況にございます。幸いにも本町におきましては、職員の努力とそれを理解して頂いております議会

それでは、主な施策について申し上げます。

1 地域を支える基盤づくり

新設の幼稚園、小・中学校再編について説明並びに検討を重ね、昨年12月議会におきまして議決いただきました。今年度は、学校再編における具体的な課題に取り組んでまいりたいと存じます。

糖業振興につきましては、平成22/23年産では、さとうきび生産量が9万トンの見込みとなっております。これも畑地かんがい整備が86%と順調に整備され、灌水の効果が発揮されたことと生産者の皆さんの生産意欲向上によるものと思うところであります。

しかしながらTPP（環太平洋連携協定）をはじめ、品目別経営安定対策制度の特例措置廃止や事業の縮小廃止など、さとうきびを取り巻く情勢は依然として厳しい

わが国を取り巻く経済状況は、20年以上低迷してきており、本格的な回復の軌道に乗っておらず、未だ慢性的なデフレ傾向が続いているとされています。

世界情勢におきましても、欧州

今後、国・県の動向に注視し、対応には、産地広域において共同歩調で取り組んでまいりたいと存じます。

世界情勢におきましても、欧州

ものがあり、予断を許さない状況にあります。町としましては、さとうきび増産計画に基づき、株出面積の拡大並びに株出単収の向上を図るため、平成23年度ではさとうきび増産強化対策事業や中古機械購入助成事業を活用し、株出管理機械や中古機械の導入による生産組合や兼業・小規模生産者の面積拡大、単収向上対策の支援を行います。また、土壌害虫対策や早期株出管理を推進するとともに、認定農業者の確保や作業受委託の推進を関係機関・団体並びに地域が一体となって取り組んでまいります。

**畜産振興につきましたは、** 昨年度までの価格低迷が、今年になって上向いてきており、少し安心してるところであります。本町の肉用牛生産は、豊富な草資源を活用した繁殖経営が行われ、飼養規模・頭数も着実に伸びてきており、年6回のセリ出荷頭数も1,100頭を超えております。

現在のセリ市場では手狭な状態で、前年から引き続き畜産基盤再編総合整備事業を活用して畜産農家念願のセリ市場完成の運びとなります。これからもコスト削減を図るとともに、新規農家の確保・育成指導を徹底して産地間競争に負けない足腰の強い肉用牛農家の育成を図ってまいります。

また、宮崎県で発生した家畜口蹄疫を自覚し、環境問題にも配慮してまいります。今年は大島地区肉用牛振興大会を本町で開催予定で、肉用牛農家にとっては血統、改良増殖を図る良い機会になると思っております。

**野菜振興につきましたは、** 畑地灌漑施設利用面積の拡大により、重点品目のトマト・カボチャ・メロン・ソラマメその他野菜の作付面積の拡大と施設園芸の推進及び園芸農家の育成と品質の向上を図ってまいります。また、カボチャの防風対策として平張施設の導入を関係機関と検討しているところです。

**果樹振興につきましたは、** 既存の柑橘類がゴマダラカミキリシの蝕害を受け、枯れる被害が発生しており、被害軽減のため虫の買い取りを行います。マンゴーについては、新規就農者が増えつつあり、既存農家研修や先進地研修を行い、技術の習得を図ってまいります。今年度は、奄美農業創出支援事業を導入して、マンゴーハウスの設置を計画しております。

**花卉振興につきましたは、** 平成19年度までに平張施設による施設整備がほぼ完了し、品質及び単収向上を図っていたところでしたが、平成21年度にキクえそ病ウイルスの発生が確認され、農業開

発総合センター大島支場の協力の下、ウイルスの撲滅が急務となっております。このことから、農家所得向上のために無菌苗を育苗し配布を計画しているところです。栽培については、これまでの栽培方法の結果を見ながら2度植を推進して単収アップを図ってまいります。

**ゴマ振興につきましたは、** マスメディア等を介して本町のゴマが照会され注目されているところで、近年はゴマ生産面積、生産量も安定しており、喜界町農産物加工センターにおいても、ゴマの加工に必要な機器類の充実が図られ、ゴマ加工の需要が増えて行くことと思えます。これに伴いゴマ産地として、特別栽培で安心・安全なゴマの生産を推進し生産拡大を図ってまいります。

**特殊病害虫防除対策について** は、カンキツグリーニング病は平成19年度以降、感染樹の確認がなく、撲滅に近づいております。来年度には、国の最終確認調査を行い、世界初の根絶を目指しております。

アリモドキゾウムシは、平成22年度から引き続き喜界町全域を調査範囲とし、不妊虫放飼やテックス板による密度抑制、トラップ調査と段階的に撲滅を図ってまいります。

**営農支援センターにつきましたは、** さとうきびの側枝苗の生産販売とパッションフルーツ・パイヤ等の苗を販売供給し、果実作物の普及に取組んでまいります。

島ミカンの果樹類も苗木の増殖を行い、町民に販売して在来ミカンの保存を図ってまいります。今年度からはボタンボウフウ(長命草)の試験栽培に取組み、新規作物の普及も図ってまいります。また、同センターの施設等を活用して研修生を受入れ、新規就農者・農業後継者の育成にも取り組んでまいります。

**農産物加工センターにつきましたは、** 島ミカンのジャムやマーマレード、トマトケチャップ等を商品化し、販売を始めております。ソラマメの皮むきや製粉などの利用も多く、年々増えております。

今年度はゴマ選別機、ゴマ洗浄機等を導入して本町の特産品ゴマの高品質の製品化、商品の研究開発をおこない、販路拡大や町民への加工技術の伝達、新たな加工グループの育成をし、更なる加工センターの利用促進につなげてまいります。

**県営畑地帯総合整備事業(担い手育成型)におきましては、** ムチャカナ地区の農道舗装、城久地区の区画整理が終了し、確定測量のみとなっております。

平成21年度には手久津久地区が採択され、施工中で今年度も引き続き実施してまいります。荒木中央地区は、今年度採択に向け努力しているところであり、中里地区については、平成25年度採択に向け計画書作成を今年度予定しているところです。

**県営畑地帯総合整備事業(担い手支援型)におきましては、** 前年度に引き続き羽里地区の土層改良及び農道舗装事業を実施してまいります。

**海岸保全施設整備事業におきましては、** 前年度に引き続き、白水と早町の間の防波堤建設を実施してまいります。

**基幹水利施設管理事業におきましては、** 前年度同様、地下ダム施設の維持管理と揚水ポンプ点検整備補修を実施してまいります。

**農地・水・環境保全向上対策につきましたは、** 農地・水・環境保全向上活動推進事業の5年間の最終年度であります。昨年度に引き続き、共同活動の支援を図ってまいります。

**林業振興につきましたは、** 森林は多様な環境保全と二酸化炭素吸収作用が重要なことであると言われております。本町におきましても、森林の果たす役割は大きく、造林・森林管理と進めているところです。

島の水産である百之台地区は、唯一の森林地帯でほとんどが人工林であり、水源涵養林として公益的機能を高めています。

海岸においての森林は、台風等被害軽減を目的とした重要な防災林で、景観対策も含め整備を行うて参ります。また、松食い虫被害で喪失した松林は、新に抵抗性クロマツの造林を継続的に行います。

水産業につきましては、離島漁業の活性化を図るために、離島地域再生支援事業の取り組みを引き続き行ってまいります。

商工業の振興につきましては、消費者ニーズの多様化や人口減少の要因に加え、雇用不安による購買意欲の低下により、本町の商店街や小売店は依然として厳しい状態が続いています。

このため、事業者の経営力向上や地域活性化を図るため、商工会及び商工会が発行するプレミアム商品券への助成を引き続き行います。融資利用者への利子補給の支援策も継続して行い、事業者への負担軽減を図るとともに経営安定や基盤強化も支援してまいります。

観光につきましては、既存資源を活用した多彩な体験型観光メニューやエコツアーリズムを推進し、交流人口の拡大に努めてま

います。その他、観光協会が主催するガーデンングツアー事業を支援するとともに、町民力や地域力を生かした美しい町づくりを推進し、本町が加盟するNPO法人「日本で最も美しい村」連合の中心となりうる町づくりに取り組んでまいります。

## 2 生活と福祉の充実したまちづくり

### (生活環境の整備)

#### (1) 公営住宅・下水道・街なみ環境整備

公営住宅につきましては、本年度から湾宮戸団地の建替え事業が始まり、本年度は木造2階建て(5戸)1棟と道路等の整備を実施いたします。

平成26年度以降は、町が管理する老朽化した公営住宅について、現在策定しております『公営住宅長寿命化計画』に沿って計画的に維持管理を推進し公営住宅等の長寿命化を図ることとなり、更なる住宅管理の経費縮減に努めてまいります。

下水道事業につきましては、平成22年度の事業開始より13年目になりました。地域の皆様のご理解とご協力により、整備率は全体計画面積の84%に達しました。

本年度は、引き続き湾・中里地区の管渠工事を5haと喜界水質浄化センターの水処理施設の増設工

事を実施いたします。

公共下水道事業の整備と併せて、個別処理の浄化槽設置整備事業も前年度に引き続き実施し、快適で暮らしやすい生活環境の確保と公共用水域等の水質保全を図ってまいります。

#### (2) 簡易水道

簡易水道につきましては、水質検査計画に基づき定期的に水質検査を実施して、お客様に安心して全な水を安定供給するために、日々努力しているところでございます。

平成19年度から実施し、昨年度一部供用開始しました南部地区簡易水道統合事業は、本年度が最終年度となります。本年度は、上嘉鉄水源の整備を実施いたします。

#### (3) ごみ処理

クリーンセンターにおいては、地域活性化交付金により炉本体及びガス冷却室耐火物の補修の整備を行い、またゴミの発生抑制、減量化等の推進により、焼却施設の延命化に取り組んでまいります。

#### (4) と畜場施設

と畜場につきましては、築39年が経過し老朽化が懸念されている

ところでありすが、衛生的に管理し、かつ危害の発生防止に努め、食肉の適正処理確保に必要な措置を講じてまいります。

本町の食文化の伝統であります山羊料理には、必要不可欠な施設であり、今後とも施設の維持管理に努めてまいります。

#### (社会福祉の充実)

高齢者福祉につきましては、超高齢化時代に対応した、在宅福祉サービスマや地域福祉活動を推進するため、行政はもちろん、社会福祉協議会、民生委員、児童委員などの福祉関係機関やボランティア団体などとの連携の強化が求められています。

地域福祉ネットワークを構築し、住民ニーズに対応した地域福祉の環境づくりを図ってまいります。

高齢者を支える基盤は、家庭や住み慣れた地域社会であり、安心して生活できるよう一人ひとりの自助努力と地域住民の連携、或いは相互援助を基調とした地域福祉の推進が必要です。

海外離島で一島一町の本町でございますので、限られた人的資源や福祉施設等を有効に活用し、地域ぐるみで支え合い、住み慣れた島で生活が送れるよう、支援を行うてまいります。

また、長年、わが町のために貢

献してこられた高齢者に感謝し、敬老金の支給や敬老バス事業、在宅支援のための訪問給食事業、老人クラブ活動の支援も引き続き実施してまいります。

後期高齢者医療保険制度につきましては、超高齢化社会を展望した新たな医療保険制度体系の実現を目指して、平成20年度に創設された医療制度です。県内全市町村が加入する広域連合が主体となつて運営し、各市町村は保険料の徴収や窓口事務を行っています。

国は平成25年度より後期高齢者医療保険制度に変わる新たな制度をスタートさせる意向のようです。しかし、いわゆる「ねじれ国会」にあるため、法案成立の行方は不透明です。運営主体や保険料負担割合にかかわる議論はこれからであることなどを踏まえ、その推移を注視し、情報収集に努めてまいります。

老人福祉施設については、入居者に、より快適なサービス提供に取組み、「老いて幸せ」が実感できるように努めるとともに、今後もより健全で良好な特別会計を維持していきけるよう、歳出抑制に引き続き努力してまいります。

介護保険については、3年ごとに各自自治体の保険料や事業計画などを見直すことが定められており、平成23年度中には、第5期介

護保険事業計画(平成24年度〜平成26年度)を策定しなければなりません。

高齢者の実態把握や給付分析、保険料の設定等の準備作業を進め、年度末に議会へ報告いたします。

### 地域包括支援センターは、

地域の高齢者の実態把握や虐待への対応など、権利擁護を含む総合的な相談窓口機能とともに、新予防プラン作成などの介護予防マネジメント、また介護サービス以外の様々な生活支援も含む包括的・継続的なマネジメントを行っています。

今後とも高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、介護事業所等と連携を密にし、きめ細やかな支援を行ってまいります。

**障がい者福祉につきましては、**重度心身障害者医療費助成事業や施設訪問旅費助成事業、心身障害者福祉金の支給等の経済的支援並びに在宅支援の補装具、日常生活用具給付事業を引き続き実施してまいります。身体障害者協会、手をつなぐ育成会、社会福祉法人「緑喜会」、精神障害者施設「ほっと館」の運営にも支援を行います、福祉団体の育成に努めてまいります。

現行の障害者自立支援法は今後

廃止され、サービスの利用者負担を応能負担とする障害者総合福祉法(仮称)が平成25年8月までに制定される予定です。

**児童福祉につきましては、**核家族化や女性の社会進出など、多様な来を担う大切な子どもたちの健全な成長のため、的確な環境整備に努めてまいります。

保育所につきましては、社会福祉法人「秀心会」に運営を委託しております。民営化に伴い、延長保育等のサービス向上を図っております。今後とも連携を密にし、保護者の要望に応えられるよう保育内容の充実にも努めてまいります。

入所児童の決定や保育料の決定・徴収等については、引き続き町が行ってまいります。保育料は、国の基準よりも低く設定しており、保護者の負担軽減を図りつつ子育て支援を行ってまいります。

子育て支援センターも引き続き「秀心会」に運営委託し、保育所に入所していない親子の交流の場として、子育て支援サービスを行ってまいります。

児童相談関係については、大島児童相談所や県福祉事務所、町教育委員会、保育所等の関係機関と連携を図り、子育て相談や児童

虐待情報の収集、意見交換等を行い、子育てに悩んでいる親を孤立させない方策を進めてまいります。

子育ての経済的支援策として、子ども手当については、時限立法のため3月末までに法案が成立しない場合、児童手当に後戻りする可能性があり、詳細な情報収集、広報に努めてまいります。昨年度父子世帯まで支給が拡大された児童扶養手当や障害児支援の特別児童扶養手当などは、制度の周知・啓発や適正な管理に努め、児童福祉の向上を図ってまいります。

**国民健康保険事業につきましては**、高齢化や医療技術の高度化等により増大し続ける医療費の抑制を行い、持続可能な制度とするため、医療制度改革が行われています。誰でも安心して良質な医療サービスを受けられる制度の安定的運営を行うよう努めてまいります。

**保健事業については、**医療費リスクの軽減を図るため40歳未満の方を対象とした人間ドック並びに国保加入者の脳ドックの費用に係る助成を継続いたします。

40歳以上の生活習慣病等の恐れのある人たちには、運動や食事等の生活改善を行って健康な状態を少しでも継続させることを目的に、メタボリックシンドローム(内

臓脂肪症候群)対策を取り入れた特定健康診査及び特定保健指導を実施しているところでございます。

自分の健康は自分で守るとの動機付けを行い、健康体を維持できるように支援を行ってまいります。

また、本町は特定健診の受診率が低く、その対策として未受診者への受診啓発とともに、病院よりの情報提供の推進にも取り組んでまいります。

**健康増進対策については、**健康相談や各種検診を定期的に実施いたします。特に、胃がん・肺がん・子宮がん・乳がん・大腸がん検診等については、早期発見・早期治療の重要性を各事業所やイベント等で啓発し、受診率の向上に努めてまいります。

がん、脳卒中、心臓病、糖尿病、高血圧症及び高脂血症など、食生活の欧米化や高カロリー化、運動不足によって生じるこれら生活習慣病は、特に重点的に対策を講じる必要がある疾患です。生活習慣改善の重要性について、啓発・指導を引き続き行ってまいります。

**母子保健につきましては、**関係機関と連携し、心身ともに健全な子どもの育成、疾病や障がいの早期発見・早期対応に努め、よりきめ細かな母子保健を推進してまいります。

特に産婦人科のない本町では、

妊産婦の経済的負担軽減を図るため、島外での妊婦健診の船賃または飛行機運賃を14回まで助成いたします。また、出産時の待機宿泊費及び旅費も助成いたします。

乳幼児健診、生後4ヶ月までの全戸訪問、母子相談、健康教育等の事業も継続して実施いたします。また、昨年度より実施してまいります5歳児健診も継続し、発達障害のある子どもと家庭を支援してまいります。

**診療所につきましては、**診療所医師との契約も本年度で切れ、また本人の意向も更新をしないとのことと、本町の課題であります医師の確保については、現状では大変難しく、平成23年度におきましては、町営診療所を休診ということも考えております。

**3 「ふるさとと自らに誇りをもつ教育」の推進と生涯学習の町づくり**

『21世紀をたくましく生きる子ども育成』

全国的に少子化、高齢化のもと、人口減少が続いております。

喜界町が今後とも現在の豊かさを維持し続けるためには、島の経済、産業、文化、伝統などを支える「意欲と能力」を備えた人材育成が現下の最重要教育課題であります。

1 こうした現状を踏まえ、本町においては、『ふるさとと自らに誇りを持つ教育』の推進を基本理念に、「確かな学力」と「豊かな心」「健やかな体」の育成を重点目標に掲げ、その達成に向けて努力して参ります。

2 学校教育の推進に当たっては、『喜界島の子どもたちもやればできる』の信念のもと、『教育の成果を児童生徒の姿で語る』ことを指標として取り組みます。また、教育の成果を上げるために、学校と家庭、地域が連携を密にし、一体となってそれぞれの教育機能を発揮できるよう支援して参ります。

3 学校の教育力を確かなものとするために、平成23年度も、地域に開かれた、説明責任を果たす学校づくりをめざし、各学校が教育目標と実践内容、教育の成果と課題を保護者や地域住民に公開し、『信頼される学校』づくりに向けた取り組みを全力で支援して参ります。

4 平成24年度の学校再編に向けて、全力でその準備に取り組んで参ります。

5 新教育課程の理念の趣旨を生かした小学校学習指導要領の完全実施、並びに中学校の新教育課程への移行措置の充実に向けて鋭意取り組みます。

次に、社会教育においては、『喜界町に学びの風を吹かせる』ことを基本理念に、『健康で、心安らぐ、癒しの町』づくりをめざして、町民が心身共に健康で、生涯にわたり、生きがいを持って、充実した人生を送れるよう『学びの場』づくりに努め、全ての人が気軽に学ぶことができる『生涯学習の町づくり』に取り組んで参ります。

1 教育の原点は家庭教育にありますが、近年、家庭教育の低下が指摘されております。こうした現状を踏まえ、家庭教育に関する講演会の開設や保護者の家庭における教育力を高める『家庭教育学級』等の内容の充実等に努めます。

2 町民の学びの場の提供、生き甲斐づくりの支援の観点から、公民館講座の充実、図書館の利用促進等に向けた取り組みに力を注いで参ります。

3 本町には先人が守り育ててきた、他に誇れる素晴らしい伝統文化や文化財があります。その継承や保存・活用に努めます。

4 明るく豊かな活力に満ちた人生が送れるよう、スポーツ活動の支援と環境整備にも全力を尽くして取り組みます。

特に、平成23年度に設立いたします総合型地域スポーツクラブへ

の町民の加入を促進し、より多くの老若男女が『いつでも、どこでも、いつまでも』スポーツに親しめる環境づくりに努めます。

5 体育施設・設備の充実については、町民の健康増進とスポーツに対するニーズに応え、現在ある施設の整備・補修に努めます。

#### 4 地域発展の基礎づくり (町土の有効利用)

農用地につきましては、農用地の総量確保と面積集積による有効利用、地域に根ざした意欲と能力のある担い手の確保・育成を通じて農業の持続的な発展を図ってまいります。農地基本台帳の整備・農地地図システム等を活用し、耕作放棄地の解消、担い手農家への農地集積や優良農地の確保・有効活用と推進指導を図ってまいります。また、農業者の老後の生活安定及び福祉の向上に資するため、農業者年金の加入促進活動にも努めてまいります。

地籍調査事業につきましては、本年度は、湾・佐手久集落の各一部を実施いたします。地籍調査の成果である地籍図、地籍簿については、各種公共事業等の基礎であり、多方面から早急な整備が望まれているところであります。平成22年度末における進捗率は18.04%でございます。

各公園施設や公共施設につきましては、正

しては、清掃及び除草等を定期的に行い、利用者が快適に利用できるように施設面の環境整備と維持補修に努め、町民並びに観光客に親しまれる施設として円滑な管理運営を図ってまいります。

(交通通信体系の整備)  
港湾及び漁港整備につきましては、船舶の安全な航行や係留等を図る為に防波堤の整備を図ってまいります。港湾整備につきましては喜界島港(志戸桶地区)の防波堤の整備と喜界島港(浦原地区)の防波堤の整備を継続して整備してまいります。

荒木漁港地域水産物供給基盤整備事業につきましては、西沖防波堤の整備を継続して行なってまいります。

町道等交通基盤整備につきましては、平成19年度から継続して整備をしております。「町道池治湾当原線」は本年度で5年目を迎えますが、国の道路事業費の圧縮等により、今後も道路整備については益々厳しくなると予想され、平成24年度以降の計画につきましては、財政状況及び事業効果等を考慮しながら、検討をしましてまいりたいと思っております。

5 行財政の合理化  
(事務処理の合理化)  
窓口業務につきましては、正

確・迅速・懇切を基本理念に住民サービスのニーズに応える業務態勢を職員一丸となって積極的に推進してまいります。

町広報誌は、町民への施策の周知、島外出身者への町の姿や動きをいち早く情報提供し、さらには「愛され、親しまれる」刊行物として内容の充実を図ります。協働・共生の「まちづくり」を推進するため、常に新鮮な情報発信を念頭に本年度も広い視野で取材し、的確な情報を提供致します。

以上、平成23年度の町政運営につきまして、「心豊かで活力に満ちたふるおいのまち」を基本理念とし、今平成23年度より10カ年計画として策定いたします。「第5次喜界町総合振興計画」の5つの基本目標にそって所見を申し上げます。

常に「目標を町民と同じ高さに置き」を念頭に町政を推進し、将来に希望もてるまちづくりのため精一杯努力してまいります。

町民の皆様並びに議員各位のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

# ミマの話題

その1

奄美海上保安部長が漁協組合員や役場幹部職員らと懇話会

奄美海上保安部の太田吉一郎長らは2月23日、町役場を訪れ、記憶に新しい尖閣諸島問題や奄美近海での不審船問題などで注目が集まる海上保安庁の取り組みなどについて、漁協組合員や町幹部職員らと懇話会をした。

太田部長は海上保安庁の最近の話題として、尖閣諸島で中国漁船が巡視船に接触したことや中国の調査船が海上保安庁の測量船を妨害したこと、昨年の奄美豪雨災害では全国でも初となる「相互協力覚書」を交わした大島地区消防組



懇話会のようす

合と連携しながら、道路が寸断され孤立した住民を巡視艇で移送した事例などを紹介した。

海保職員としていつも考えていることについて、領海と排他的経済水域との違いを説明しながら「どこまでが日本の海か」や「灯台は平常どおり海を照らしているか」、「常時即応体制にあるか」などと説明した。

海上保安庁の概要説明として、海上の犯罪捜査・警備（警察業務）、海難救助・船舶火災消火（消防業務）、海図作成や潮流測定、海底の火山や断層の調査（海洋情報業務）、灯台の設置や管理、船舶航行支援（交通業務）など、司法と行政の二足のわらじを履く特殊で幅広い業務内容を説明した。また、「年間予算は約1800億円（海上自衛隊のイージス艦は一隻で約1600億円）で約1万2000人の職員がいる」と話し、海上保安官になる方法も紹介した。質疑応答では、「尖閣諸島で中国漁船が巡視船に体当たりする映像が流出したが、どう思うか」と

の参加者からの質問に、太田部長は「一職員の独断であり、組織としてあってはならないこと」と話しながら「奄美近海で北朝鮮工作船と銃撃戦をした際はビデオを公開したように、われわれは現場で何が起きているかを国民に広く正しく知っていただくために撮影している」と付け加えた。

最後に太田部長は、海難事故に遭った際や不審船を目撃した際には、  
「海の『もしも』は118番を合言葉に、いつでも118番に通報して欲しい」と訴えた（携帯電話からも可能）。

## “元”役場職員が宮崎県副知事に就任 — 牧元幸司さん —

喜界町役場の“元”職員、牧元幸司さんが3月3日、宮崎県副知事に就任した。

牧元副知事は東京生まれの48歳。東大法学部卒業後、昭和60年に農水省入省、町役場には同62年4月から平成元年3月まで2年間勤務した。

その後、阪神・淡路大震災の翌年に兵庫県庁への出向や農水省食肉鶏卵課長、副知事就任前は林野庁林政部企画課長などを歴任した。



牧元幸司宮崎県副知事

これら中央での経歴や兵庫県庁で災害復興にあたったこと、喜界町をはじめとする市町村での現場経験などを買われ、口蹄疫からの早期復興や鳥インフルエンザ対策、いまだ予断を許さない霧島・新燃岳の災害対策など、山積する難題の陣頭に立つ河野俊嗣知事の補佐役として、白羽の矢が立った。

この大役に牧元副知事は「まずは山積する当面の課題解決に全力をあげることがもちろんだが、中長期的には中山間地域が多い宮崎県の特長を生かした産業振興に取り組みたい」と話す。

\* \* \* \* \*

牧元副知事は町役場時代、1年目は耕地課で着工を控えた地下水ムに関連する事前調査や水資源利用開発にかかる条例整備などを、2年目は総務課で消費税導入を控

えての諸条例の手直し、  
当時は自治体としては全国的にも珍しい自然保護を目的とした「オオゴマダラ保護条例」制定などに携わったという。

島での思い出を聞かれた牧元副知事は「宮崎は文字どおり『山紫水明』の美しい自然にあふれているが、喜界島の自然も負けていない。島の人たちには大変お世話になり、酌み交わした黒糖焼酎とカラジュリーも忘れられない」と答えた。

当時、上司（耕地課長）だった加藤啓雄町長は「官僚特有の四角四面さはなく、気さくで頭脳明晰。時には声高に議論する熱い気持ちも併せ持つ若者だった」と振り返り、「2年間だったが、他の職員の模範となり、よい刺激を与えてくれた。牧元君なら宮崎県民の期待に確実に応えてくれる。副知事就任は同僚だったわれわれにとっても大きな誇り」と喜んだ。

牧元副知事は、中央に戻った後も数年と置かず島に「里帰り」し、東京喜界会にも顔を出するなど「すっかりシマツチュになっていく」（加藤町長）という。

# 喜界島の「水」をもっと知ろう!

～ゴミを下水道に捨てないで! 喜界町民すべてが困っています!!～

公共下水道や農業集落排水施設が整備されてから、生活排水などはきれいに浄化され、海へと戻り、美しい喜界島の自然環境が保たれています。

その下水道が整備されて以来、ゴミや使用済みの食用油などが下水道に流されて、処理場でつまったり、ポンプ場故障の原因となつています。そのため、トイレや台所などの水まわりが使用できない状態になるなど、多くの方々にご迷惑をおかけしています。また、修理のために、皆さまの貴重な税金が使われています。



下水道につまったぞうきん



廃油がつまり汚水があふれたマンホール

トイレや台所、風呂場などで、絶対にゴミを流さないように、皆さまのご協力をお願いします。

パイヤの新品種『石垣珊瑚』と『石垣ワンダラス』の説明会が3月8日、役場多目的室であった。説明したのは独立行政法人国際農林水産業研究センター熱帯・島嶼研究拠点(沖縄県石垣市)の勝田義満氏と奄美産業開発研究所(奄美市)の安田博行氏。勝田氏は新品種パイヤの特長を次のとおり説明した、

- ・既存種『ワンダーブライト』の自然交雑苗から選抜/ハウス栽培となる/果実の重量は『石垣珊瑚』が平均840g、『石垣ワンダラス』が1800gの大果/豊産性で周年生産可能(年80個)/『石垣珊瑚』ヒザの高さ、『石垣ワンダラス』は手の届く高さで着果す



説明会には約70人が集まった

パイヤ新品種はいかが? 栽培管理技術と特徴を説明

る/強い芳香で糖度が高く食味良好/『石垣珊瑚』は雌花だけで結実、『石垣ワンダラス』は雄花を人工授粉 など

安田氏は「皆さんが作ってくれたら、高級デザートなどに販路があるので、責任を持って売る。喜界には加工センターもあるので付加価値も考えたい」と話し、『石垣珊瑚』などの品種登録名は、喜界島から出荷する場合は、独自の登録名も考えられる」などと説明した。

かたつむりのオバケ? いいえ「タコの仲間カイダコです」

とある日の昼下がり、年度末で慌ただしい役場企画課に「おうむがいネッスン スーダ貝殻ミッキテイ」と、巻き貝の殻が持ち込まれた。

その貝殻は乳白色で、マーチョーニャー(かたつむり)やヤクゲー(夜光貝)とは異なり、正面から見るとオウムガイのように左右対称で、側面には放射状に凹凸が刻まれていた。

持ち込んだ男性(匿名希望)は「オウムガイは沖合でたまに網にかかるので、それほど珍しくない。これは初めて見た」と興奮気味。

一目見た企画課職員は「これは

タコの仲間では。昔、『わくわく動物ランド(テレビ番組)』で見た気がする」と得意顔で知識を披露した。さっそく図鑑で引いたところ、まったく同じ貝殻に収まった8本足のタコが掲載されていた。そこには「タコ目アオイガイ科。うすい殻は外敵から身を守るためではなく、中に空気を取り込んで浮力の調整をするため」とあった。

さらに「玄界灘以北の日本海沿岸で漂着することが多い」との文章を見つけた匿名男性は「ヤッパイミンダシムンアタスジャヤ」と満足そうに役場を後にした。



持ち込まれたカイダコの殻

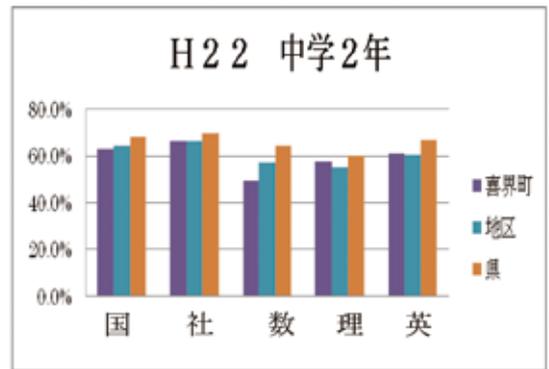
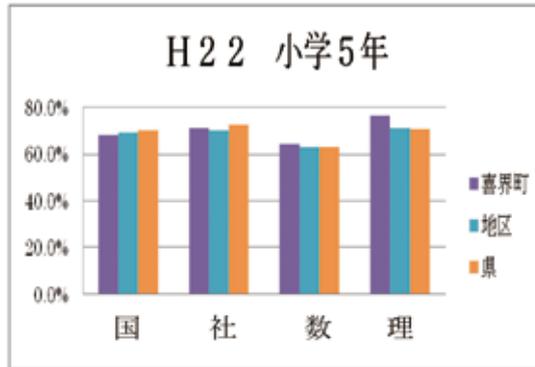
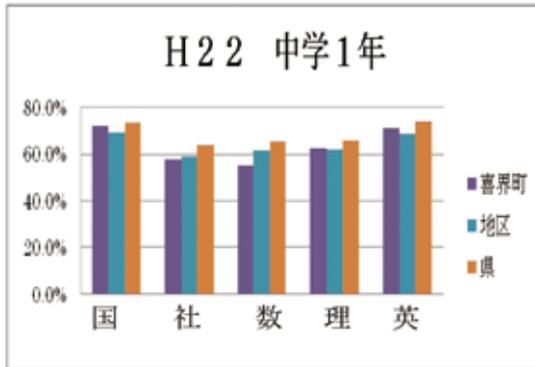
平成二十三年一月、県下の全ての小学五年生・中学一年生・二年生を対象に学習したことがどれだけ身に付いているかを調べる「基礎・基本」定着度調査が行われました。

下のグラフは、教科ごとの県の通過率を百としたときの本町と大島地区の平均正答率と比べたものです。

各学校の学力向上の取組と本調査結果から、次のような成果と課題がありました。

教科ごとの通過率（県と町との平均の比較）

	国語	社会	算数 数学	理科	英語
小県	70.0	72.1	62.7	70.6	
5町	67.9	70.9	63.9	76.0	
中県	73.1	63.7	64.9	65.7	73.9
1町	71.7	57.4	54.7	62.0	70.8
中県	67.8	69.6	64.3	59.8	66.6
2町	62.8	66.0	49.3	57.4	60.6



### 【成果】

小学校では算数、理科で県平均よりも高い学力を身に付けている。特に理科の伸びが著しい。

中学校は理科、英語に伸びが見られる。

### 【課題】

小学校では、昨年度と比較して国語が落ち込んでいる。現在取り組んでいる言語活動の学習について、より一層充実させていく必要がある。

中学校の数学に関しては、県、地区と比べて大きく落ち込んでいる。数学は、系統性の強い教科であることより小中の連携を図りながらつまずきの根源を適切に把握し、課題解決に向かう必要がある。

また、子どもたちの考える力を育成する上で問題解決的な学習の展開について充実を図る必要がある。

**学力は、「自分の夢を実現するため、「変化の激しいこれからの社会を生きていく」ために最も基礎となるものです。**

子どものために、家庭や地域で未来ある子どもたちを支えていきましょう。「喜界の子どもはやればできる」

## 平成23年度町教審行事予定

### 総務課関係

■家庭学習サポート教室（やる気塾）開校式  
（5月下旬）

■一中、早中運動会  
（9/18）

■二中、上幼・小、坂小、荒幼・小、滝小、早幼・小、志幼・小、阿小運動会  
（9/25）

■湾小、小幼・小運動会  
（10/2）

### 生涯学習課関係

■中央公民館講座合同開講式

（4/24）

■第65回県民体育大会

第52回大島地区大会

〈バレーボール（男子）競技〉

（7/9）（10）

■第49回町民体育祭

（10/9）

■生涯学習リーダー養成講座

（10/23）

■県教委嘱託PTA活動研究公開

（11/13）

■第46回島内一周駅伝競走大会

（11/20）

■第16回喜界町生涯学習推進大会

（11/27）

■中央公民館合同開講式・公民館祭り

（12/11）

■喜界町成人式

（1/2）

■島唄・島ゆみた大会

（2/19）

以上、主な事業のみを掲載いたしました。

また、地区・県レベルの事業（朱書き）については、町民の御声援と御協力をよろしくお願いたします。

# すこやか 二コース

4月2日は

「世界自閉症啓発デー」

4月2～8日は

「発達障がい啓発週間」

自閉症は「常に自分の殻に閉じこもっている状態」と考えられ、親の育て方が冷たい事が原因ではないかと思われることがありますが、これは誤解です。そして、自閉症にはいろんなタイプがあって、知的な発達の遅れがないタイプが約半数とも言われています。この知的な発達に遅れがないタイプの自閉症が高機能自閉症やアスペルガー症候群と言われるものです。最近ではこれらすべてを含めて「自閉症スペクトラム」と呼ばれることが多くなりました。一般的に発達障がいと言われるのは、この自閉症スペクトラムに、学習障がい（LD）、注意欠陥多動性障がい（AD/HD）等の障がいを加えたものをさしています。発達障がいは、生まれながらの脳

機能のちよつとした違いから生じています。障がいごとに異なりませんが、いろいろなことの学びが自然にさつとできにくいという特徴があります。発達の過程にアンバランスがあるのです。自閉症スペクトラムの人たちは「人との関わり」「他人の感情や意図を読む」「社会の規則を理解する」などのことが苦手です。またいろんな「こだわり」や「感覚の過敏」を持って

いる人もいます。そのために、場にそぐわない言動があつたりします。知的な発達に遅れがない発達障がいの子どもたちの多くは、障がいから起きる「変わった言動」をわかつてもらえず、「変なやつ」「ウゼーやつ」と思われて苦しんでいます。

まずは、苦手なところを理解してください。「できないから」「間違っていたから」といつて叱ることではなく、「どうすればよいか」を短い言葉で具体的に伝えてください。周囲の「こうやればいいんだよ」というちよつとした一言が助けになります。より丁寧に関わっていくことで、学んでいく人たちだということをわかつてください。

## 喜界町に転入された 乳幼児・妊婦さんのいる ご家庭の皆様へ



### ●お子さんの予防接種について

喜界町では、予防接種の接種状況をコンピューターで管理し、対象年齢に達したお子さんにその都度、予防票を発送しています。転入された方でお子さんがいらっしゃるご家庭は、役場保健福祉課予防接種担当まで、お子さんの予防接種状況をお知らせください。接種状況が分からない場合、必要な通知が届かなかつたり、不用な通知が何度も届いたりというようなくもありません。ご協力よろしくお願いたします。

### ●妊婦健診受診票の切り替えについて

妊婦の皆様は、前住所地で母子手帳と一緒に発行された「妊婦健診受診票つづり」を持っていらつしやると思います。住所を移された場合は、喜界町発行の受診票と

切り替える必要があります。役場保健福祉課母子保健担当までご連絡ください。

## すこやかセンターは 役場内に移転しました。

保健センター・地域包括支援センター「すこやか」は、役場庁舎保健福祉課内に移転しました。乳幼児健診や予防接種は、今まで通り「旧すこやかセンター」で行います。

町民の皆様には、ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力を頂きますようお願いいたします。

今まで通り、相談業務も行っております。お子さんの体重測定もお部屋を準備しておりますので、どうぞお気軽にお越し下さい。電話番号は今までと変わりません。（直通65-3522）

## 5月7～12日は肺がん 検診を実施します。

今年も早速、肺がん検診が始まります。4月の中旬以降に受診票を発送いたします。対象は40歳以上のすべての町民です。

肺がんは、鹿児島県内のがんによる死亡の第一位です。喜界町の肺がん検診受診率は平成21年度で

34・8でした。肺がん検診では、胸部のレントゲン撮影に併せて、血液症状のある方や一定以上の喫煙歴のある方には、喀痰検査も実施しています。ぜひこの機会に受診してください。

## 3歳児健診でむし歯ゼロだったよ！



原口怜央くん

松元来輝くん



# ゴミの出し方マナーについて！

## ●ゴミステーションへ出す場合

- ・ゴミは、正しく分別し、喜界町指定ゴミ袋に集落・氏名（フルネーム）を記入して出しましょう。
- ・ゴミは、決められた日の朝8時までに出示しましょう。（前日からの持ち出しは絶対にしないでください）
- ・ゴミステーション（ゴミ出し場）は利用する人たちがきちんと管理し、おたがいの協力のもとに、清潔にしましょう。

## ●クリーンセンター持ち込みの場合

クリーンセンターへのゴミの持ち込みは、ゴミの種類ごとに分別し、中身の見える透明袋でお出してください。喜界町指定ゴミ袋で持ち込まれた場合でも計量し手数料を徴収いたしますので、喜界町指定ゴミ袋では持ち込まないようお願いいたします。

## ●ゴミの不法投棄について

廃棄物（ゴミ）をみだりに捨てる「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の違反より5年以下の懲役もしくは1,000万円以下の罰金、場合によってはその両方が課せられます。

●問い合わせ先 喜界町役場 住民課 生活環境係 65-1111（内線：33）

## 保健所からのお知らせ！



### 犬・ねこを飼っている皆様へ



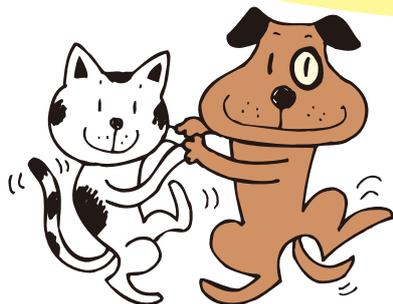
- ◎ 犬の放し飼いは、絶対にやめましょう！
- ◎ 犬・ねこを捨てるのは、絶対にやめましょう！
- ◎ 散歩中の犬のフンは、必ず持ち帰りましょう！
- ◎ 恵まれない子犬・子猫が生まれないうよう、不妊処置などの繁殖制限を行いましょ！
- ◎ 飼いねこ以外のねこに、餌を与えるだけの行為はやめましょ！
- ◎ 犬は登録と年1回の狂犬病予防注射を必ず行いましょ！
- ◎ 転出等で、犬が飼えなくなった方は、保健所にご相談ください！



犬やねこも家族の一員

愛情と責任を持って飼いましょ！

動物を捨てる時、法律により罰せられます！！



◎ご不明なことは遠慮なく御相談ください！

名瀬保健所 喜界町駐在 TEL 65-3018

喜界町 住民課 TEL 65-1111（内線33）

# 自動車リサイクルとは？



ご存じでしたか？  
廃車時に支払う経費が  
安くなっています。

## ● 離島対策支援事業！

離島では廃車された車は、適正な処理を行える施設のないため、本土へ海上輸送しなければならず、高額な輸送費の負担が自動車リサイクルの処理に支障をきたしていました。

自動車リサイクル促進センターでは、離島市町村が行う廃車時の海上輸送を円滑にするため、海上輸送費に対し資金協力を行っており、海上輸送費1台当たり7,350円の内、5,880円(80%)が助成額になります。

廃車時には、経費明細書にてご確認ください。詳しいことは、役場住民課までお問い合わせください。

# 家電リサイクルとは？

## ● 料 金

現在、7区分に分かれており、負担する料金は、「販売店などの収集・運搬料金」+「リサイクル料金」です。収集・運搬料金は電気商業組合加盟店であれば、下記料金表のとおりですがリサイクル料金は製造業者等により細かく異なりますので、処分されるときにお店でご確認してください。

この期間に不要になった家電製品を整理しましょう。

## ● 加盟店

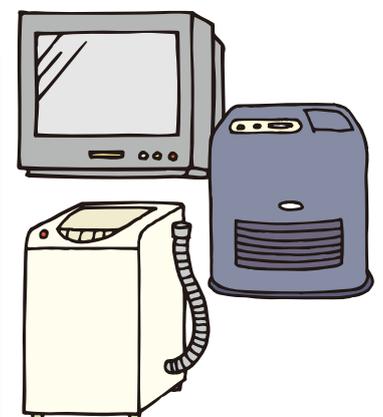
ひろでんき、ツル電機商会、喜界文化、大成無線、クボデン、早町放送社、サンヨー社、清水電気、ニシムタ喜界店の9店舗になります。

## ● 業務外品の処分方法（引き取り義務のある小売店が存在しない場合）

購入した小売店が廃業で存在しない、または引っ越しにより購入した小売店が遠方になった場合でも、加盟店の方で対応しますのでご相談ください。

## ● 料金表

品名	区分	リサイクル料	助成額	料金（助成後）
冷蔵庫 冷凍庫	401リットル以上	11,400	2,540	8,900
	400リットル以下	9,200	2,540	6,700
	401リットル以上	8,100	2,540	5,650
テレビ	16型以上	5,700	1,180	4,590
	15型以下	4,700	1,180	3,540
洗濯機	一律	6,500	2,020	4,490
エアコン	一律	6,300	1,770	4,530



※ みだりに廃棄物を捨てると「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」違反より5年以下の懲役か1,000万円以下の罰金、場合によってはその両方が課せられます。

# 九州電力からのお願い

## こいのぼりは電線にふれないところで

お子さまの健やかな成長を願う鯉のぼり。

次のようなことに気をつけて鯉のぼりをあげましょう。

- 鯉のぼりは電線から十分に離れた安全なところに立てましょう。
- 鯉のぼりのポールを立てるとき、倒すときは、電線に触れないよう注意しましょう。
- もし、鯉のぼりが電線にかかった場合は、危険ですから自分で取らずに、すぐに、最寄りの九州電力営業所までご連絡ください。

## クレーン作業等を行なう前に

次のようなことに気をつけて作業をしましょう。

- クレーン作業等を行う前には、付近の状況をよく観察して電線路に接触する恐れがないか確認する。
- 配電線の近くで作業を行う場合は、九州電力に連絡して建設用防護管を取付けて安全措置が講じられた後に作業を行う。
- 電線路近くでの作業では、専任の監視者を設け単独作業を行わない。
- 車両の移動を行う場合は、必ずブームの収納、ダンプカー等については荷台の下げを確認して移動する。
- 最寄りの九州電力営業所までご連絡ください。



## 九州電力からのお願い



クレーン使用

トラック荷上げ・トラックをあげたまま走行

- ・クレーン作業等を行う前には、付近の状況をよく観察して電線路に接触する恐れがないか確認する。
- ・配電線の近くで作業を行う場合は、九州電力に連絡して建設用防護管を取付けて安全措置が講じられた後に作業を行う。
- ・電線路近くでの作業では、専任の監視者を設け単独作業を行わない。
- ・車両の移動を行う場合は、必ずブームの収納、ダンプカー等については荷台の下げを確認して移動する。

最寄りの九州電力営業所までご連絡ください。

【問い合わせ先】

九州電力(株)奄美営業所 TEL 0120-986-808

# 奄美の島々で地域の活性化に取り組んでいるみなさまを応援します！

## 奄振事業「共生・協働による地域活性化推進プロジェクト事業」の募集について

みなさんのアイデアと創意工夫による地域の活性化や課題解決に取り組む活動を応援することで、住民や関係機関との幅広い協働による奄美群島の持続可能な自立的発展を目指す事業です。



### 1. 応募できる団体

NPO法人、ボランティア団体、地域の自治会その他民間企業

### 2. 対象となる事業

農業、観光／交流、情報通信に関する事業

### 3. 募集期間

平成23年4月1日（金）～平成23年4月30日（土）（当日消印有効）

### 4. 助成額

助成対象経費の10分の6以内（60万円を上限）。

※市町村の判断により10分の4の範囲内で上乗せすることができる。

### 5. 募集要項等の配付場所

奄美群島広域事務組合のホームページから募集要項・応募様式をダウンロードできるほか、奄美群島広域事務組合、市町村役場にて配布しています。

### 7. 応募先

喜界町役場企画課 65-1111（内線23）

### 8. お問い合わせ先

奄美群島広域事務組合 52-6032 電子メール：amashin-kkp@amami.or.jp

### 乳幼児医療助成について

（県では所得制限を設けているが、本町では所得制限なし）

○医療費の助成期間

資格発生日から、医科・歯科ともに6歳に達する日以降の最初の3月31日まで

○医療費助成

入院・外来とも保険適用分のみ

●住民税課税世帯

3千円を超えた金額

●住民税非課税世帯

医療費全額

### 児童扶養手当・特別児童扶養手当・ひとり親家庭医療費助成制度について

○児童扶養手当は、父母の離婚により、父または母と生計を同じくしていない児童（父または母が重度の障害である場合を含む）の父または母や、父または母にかわってその児童を養育している方に対して手当が支給されます。

○特別児童扶養手当は、20歳未満で心身に障害のある児童の扶養のために、その父母、または養育者に対して支給されます。

○ひとり親医療費助成制度は、母子（父子）家庭の母（父）および児童（18歳に達する日以降の最初の3月31日まで間にある者）に対して医療費を助成する制度です。

### 子ども手当について

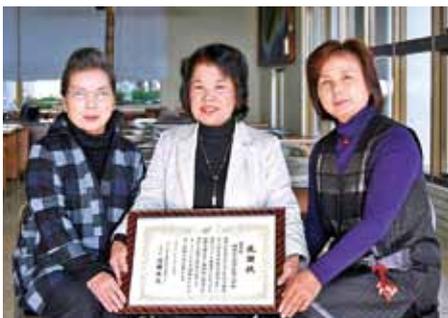
出生・転入等により新たに受給資格が生じたときや転出されるときは、役場保健福祉課窓口で届出をしてください。（公務員の方は職場に）認定請求した翌月から、消滅した月まで支給されます。

手当を受けるための手続き等詳しいことは保健福祉課窓口へお尋ねください。

65-1111（内線35）

### 結核予防に貢献で感謝状

喜界町結核予防婦人会（永房枝会長）はこのほど、結核成人病の予防普及および寄付を呼びかける複十字シール運動の取り組みにより、財団法人県民総合保健センターから感謝状を受けました。



感謝状を受けた喜界町結核予防婦人会

# 平成23年度 喜界町役場職員 人事異動一覧表(平成23年4月1日付)

昇格	氏名	新任職	前任職
(課長級)			
	嶺 義久	総務課長	企画課長
	中山 博文	企画課長	住民課長
	武田 秀伸	住民課長	会計課長
○	愛津 克浩	会計課長	総務課長補佐
○	叶 日出克	税務課長	教委総務課長補佐
○	喜岡 哲久	老人福祉施設参事兼施設長補佐	老人福祉施設長補佐
○	要 凉子	湾幼稚園長	湾幼稚園主幹(兼)園長
○	岩切進一郎	大島地区消防本部喜界分署長	大島地区消防本部喜界分署補佐
(課長補佐級)			
	吉沢 伸一	総務課長補佐	水環境課長補佐
	伊地知 告	企画課補佐兼観光商工係長	産業振興課技術補佐
	値 貞豊	税務課長補佐	議世事務局長補佐
	加島 英郎	産業振興課技術補佐兼耕地林務係長	建設課技術補佐
	小林 学	大島農業共済組合【出向】	営農支援センター所長補佐
	来 和法	議世事務局長補佐	保健福祉課診療所補佐
	得本 拓	中央公民館長補佐	中央公民館補佐兼図書館補佐
	中村 幸雄	総務課長補佐兼財政係長	総務課主幹兼財政係長
	盛 実	建設課技術補佐兼土木係長	建設課主幹兼土木係長
○	勝 昭則	水環境課長補佐	水環境課水道管理係長
○	幸田 勝光	教委総務課長補佐	奄美群島広域事務組合【出向】
○	菊池 勝彦	建設課空港管理事務所主幹兼係長	建設課空港管理事務所係長
○	岩井 亮子	保健福祉課主幹兼庶務係長	保健福祉課庶務係長
○	榮 四枝	湾幼稚園副園長	住民課住基係長
○	原田 幸子	荒木幼稚園主幹	荒木幼稚園係長
○	竹内 功	中央公民館主幹兼庶務係長	中央公民館埋蔵文化財係長
○	寿 隆彦	水環境主幹	産業振興課農政係長
○	叶 一寿	産業振興課主幹兼営農支援センター所長	産業振興課園芸花卉係長
	前島 利彦	大島地区消防組合喜界分署長補佐	大島地区消防組合喜界分署主幹
○	原田 久吉	大島地区消防組合喜界分署主幹	大島地区消防組合喜界分署係長
(係長級)			
	梅林 瑞代	住民課住基係長	老人福祉施設庶務係長
	吉田 圭志	産業振興課農政係長	総務課人事行政係長
	徳 勝志	企画課学校跡地利用対策係長	企画課商工観光係長
	光 恵美子	老人福祉施設庶務係長	教育委員会総務課庶務係長
	初 千加子	税務課法人税係長	上嘉鉄幼稚園
	吉田 信子	老人福祉施設看護師長	診療所看護師長
	永井 昌徳	水環境課下水道係長	建設課港湾係長
	英 憲仁	建設課港湾係長	産業振興課耕地林務係長
	乾 みち子	上嘉鉄幼稚園係長	湾幼稚園係長

昇格	氏名	新任職	前任職
	平松 艶子	教委図書館庶務係長	保健福祉課保健センター庶務係長
	富田 道夫	老人福祉施設係長	教育委員会総務課学校再編係長
	勇 文子	保健福祉課包括支援センター看護師長	老人福祉施設看護師長
○	古沼 寛之	総務課人事行政係長	後期高齢広域組合【出向】
○	中山 佳也	住民課生活環境係長	住民課主査
○	今井 章貴	建設課建築係長	建設課主査
○	重野 泰浩	産業振興課畜産係長	産業振興課主査
○	萩原 智三	老人福祉施設係長	老人福祉施設主査
○	寿 満夫	教委総務課係長	老人福祉施設主査
○	菊地 典子	教委総務課庶務係長	教委公民館主査
○	酒井 正子	湾幼稚園係長	湾幼稚園主査
○	肥後 謙治	給食センター庶務係長	建設課空港管理事務所主査
○	大山 克夫	水環境課水道管理係長	水環境課水道管理
○	伊地知典子	小野津幼稚園係長	湾幼稚園
(主査級)			
	愛 隆治	建設課空港管理事務所主査	大島農業共済組合【出向】
	川畑 桂	湾幼稚園教諭主査	教委図書館主査
	岡田 勝昭	教育委員会総務課主査	給食センター主査
	昌野喜代美	保健福祉課保健センター主査	診療所
○	竹田 杏里	志戸桶幼稚園主査	志戸桶幼稚園
○	嶺倉 公人	保健福祉課主査	診療所
(一般職)			
	浜川 健一	企画課学校跡地利用対策係	水環境課
	上間 勇喜	産業振興課営農支援センター	産業振興課
(新規採用)			
	生島 大輔	水環境課	
	上地 義光	産業振興課	
	巖 泰斗	産業振興課	
	玉利 猛	建設課	
	玉岡 悟	大島地区消防組合出向	
(退職者) 平成23年3月31日付			
	藤本 安満	総務課	
	幸田 泉男	税務課	
	川畑 英二	大島地区消防組合喜界分署	
	吉岡 強	産業振興課	
	巴 文昭	税務課	
	永 美紀子	小野津幼稚園	
	富 豊一	住民課	
	豊 美枝子	老人福祉施設	

# ミマの話題

その2

早春の喜界路で老若男女366人が汗—俊寛ジョギング—



早春の喜界路を駆け抜けたランナーたち

に懸命に走り、沿道からはさかんに声援が送られた。

2キロの部、女子1位の小田麻里奈さん（小野津小5年・当時）は「登り坂がきつかったけど去年は入賞できなかったので1位はうれし」と話した。

今大会には、九電工陸上競技部の朝日嗣也選手も参加し、子どもらの手本となる美しいフォームを披露した。

大会結果は次のとおり、

## 2キロの部（279人）

**男子** ①龍田優斗（6分55秒）、

②中園竜矢、③住岡真至

**女子** ①小田麻里奈、②吉永真唯、

③西岡愛梨

## 5キロの部（53人）

**男子** ①萩原望夢（19分19秒）、

②濱川光太郎、③榎大貴

**女子** ①廣美奈代（24分19秒）、

②廣知子、③川波志乃

## 10キロの部（34人）

**男子** ①吉田圭志（44分25秒）、

②岩崎尽、③岡本大成

**女子** ①生島小梅（54分56秒）、

②岡本夢実、③西野亜紀

平安末期、『源平盛衰記』や『平家物語』によれば、政権中枢を占める平家の打倒を画策した「鹿ヶ谷（しがたに）の陰謀」に関わったとして鬼界ヶ島に流され、生涯を終えた俊寛僧都。その遺徳をしのぶ俊寛ジョギング大会が3月6日、町体育館を発着地点に老若男女366人が参加してあった。

早春の陽気に恵まれる中、参加者は2キロ、5キロ、10キロの3コースに分かれて健脚を競った。2キロコースの親子連れは手をつなぎながら、5・10キロコースの成人や中高生らは好タイムを目標

## 喜界島方言調査団リレーエッセー

### 喜界島の方言を残そう…④

狩俣繁久・富山奈那（琉球大学）

**喜** 界島方言調査団と島の人たちの交流会の席で川畑さおりさんの力強く伸びやかな歌声を堪能し、島唄の世界に触れた。その川畑さおりさんがメジャーデビューした。元ちとせも中孝介もローカルを究め、全国的に活躍する先輩である。川畑さおりさんの活躍も期待したい。

自分の生まれ育った土地の文化や言葉について熱く語り誇れる何かをもっている人は、都会、外国に行っても自信を持って自分を語れる強い人である。

喜界島にはたくさんさんの宝がある。島唄も島の文化も島の言葉も島の宝だ。どこにいても自信を持って自分を語る若い人を育てることが今は必要なのである。島の言葉や島の文化を教えるのは、狭い人間を育てるのではない。自分は喜界島の生まれだと自信を持って語れる子供たちを育てる第一歩が島の文化と言葉の教育なのである。

昔は、標準語か方言かの二者択一を迫り、標準語しか話せない教育を強いた。しかし、人間にはたくさん言葉を使いこなす能力がある。二つの言葉を話せることをバイリンガル

ルといい、たくさんさんの言葉を話せることをマルチリンガルという。グローバル化が進み、日本でも日本語標準語と英語のバイリンガル教育の取り組みが官民でなされている。2ヶ国語以上の言語習得を目指したマルチリンガル教育を行なうところがある。国際舞台で複数の言語を操って活躍している人は自分の故郷の文化や母国語を大切にしている。

故郷を深く愛するには、まず故郷のことについて知らなければならぬ。一朝一夕に言葉を全部まるごと覚えることはできない。日常生活の簡単なあいさつや島唄から始めるのもいい。島の言葉で語ることをわざと教えてもいい。ことわざには祖先から引き継がれてきた知恵や親子の情愛が詰まっている。島の自然を表現する単語、草木や花、虫や鳥を方言でなんというのかを教えるのもいい。子どもたちは、大人の活動や言葉に注意をむけて耳を傾けるようになるだろう。島の自然や生き物を注意深く観察するきっかけになるだろう。深く知れば知るほど故郷を大切に思い、誇りをもって語るようになるだろう。

方言を話せることをバイリンガル

## 鹿児島大学離島地域看護学実習学生訪問のお願い

看護職を目指す鹿児島大学の学生約90名が5月11日から4日間、「喜界町の暮らし」を勉強をするため来島します。医療、福祉、保健だけでなく、町民のこれまでの人生経験や集落への思いなど、色々とお話を聞かせていただきます。皆さんのお話しを通じて「集落で語り継いでいきたいこと」や最終的には喜界町をまるごと勉強したいと考えています。

学生たちは喜界島に行くのを楽しみにしています。学生が訪問したときはぜひ皆さんの思い、言葉のシャワーを学生たちに浴びせてください。よろしくお願ひします。

鹿児島大学医学部 教授 波多野 浩道

# 喜界歌壇

## 〈ミーニシ會〉

春立ちて日脚伸び来し部屋ぬちに心を張りてものを書き初む

嶺倉 祝子

重ねゆく齡に抗う術もなし  
向かう鏡に黒髪欲れど

林 蓮香

咲き終えて幹を切られし芙蓉の樹また芽吹きたり吾が生のごと

有村 道子

病室の窓際に臥す吾の役カーテン開ければ紅梅咲きけり

平尾 チヨ

如月に家毎緋桜咲き満ちて  
過疎の村にも華やきともる

弥島 幸子

## 〈萌葉會〉

冬日和岸辺の青海苔はなひらき  
頬にうらかぜ香り漂ふ

島崎 久代

待ちに待ちいきいきサロン老母の会福祉の集い楽しからづや

平島 初子

春風は肌によさしくこころ解き  
木々の梢の芽吹く道ゆく

豊島 瞳

早春の空に舞いざるトンビ二羽  
友とドライブ歓声しきり

井澤紀美子

いやおひに頭よぎりぬ恩師詠む  
三十一文字に蘇る青春

前田喜代美

平和語り悲喜こもごもとあの姿  
百四歳に逝きし戦争未七人

美代 イシ

励ましの言葉飛び交う港場に  
手と手を繋ぐ紙の虹かな

徳 成寿

## 戸籍の窓

こんにちは

赤ちゃん

氏名	保護者	住所
益 魁	人・英紀・荒木	
夏 目 一	郎・淳一・赤連	
荒 本	紗・優基・伊実久	
瀬ノ口 裕	斗・和彦・赤連	
西 彰	吾・隼人・赤連	
瀧 元 桜	海・洋平・中里	



## 今月のウヤフジ訓 ⑧

アツサソウサマシ

(熱ければ冷ませ)

ネタサソウコネリ

(憎ければ捏ねよ)

### 解説

熱くて食べられないなら、冷めるまで待てばよい。  
憎い人がいれば、時が解決するまで我慢すればよい。  
一時の感情で人を憎んだとて、物事が好転することはないのだ。

## 杜協だより

■ 香典返し (敬称略)

小野津 岩村 テツ	赤 連 長田サツエ
手久津久 瀧 千賀子	湾 進 里志
赤 連 武田 教子	赤 連 渡瀬イツ子
小野津 備 則子	羽 里 山崎 勇
上嘉鉄 住友 トヨ	中 里 勇 利治

いつまでも

お幸せに

氏名	住所
伊藤 大樹・志戸桶	
吉富 麻美・荒木	



ごめい福を

お祈りします

住所	氏名	年齢
上嘉鉄・住友	常正	93才
赤連・武田	マツエ	94才
赤連・長田	昭八郎	83才
赤連・渡瀬	正久	89才
湾・進	リユウ子	61才
島中・西島	リユウ子	61才
塩道・柏木	スミノ	80才
白道・勇	新輝	83才
小野津・前山	助昭	90才



## 喜界町の推計人口

(平成23年4月1日現在)

世帯数	・・・3,572 戸 (△52)
人口	・・・8,035 人 (△162)
男	・・・3,837 人 (△82)
女	・・・4,198 人 (△80)
	( ) は前月比

税で創る、あかるい未来  
4月末は、  
軽自動車税  
の納付期限です。  
納期内に必ず納めましょう。

# 島に咲く花

vol. 34



## ヤマブツ (山桑)

東アジア全域に分布するクワ科クワ属の落葉高木。島でも紬産業が隆盛を誇った頃、当然ながら養蚕もあり、クワの葉で蚕(カイコ)を育て、そのサナギが作るマユから絹糸を取っていた。

材質は堅く工芸品に使われる。若葉は天ぷらなど、実はジャムなどにもなる。特に50代以上の方には、赤黒い実を口の周りを黒くして、おやつにした記憶があるのでは。その赤ワインのような色をした実には、やはり赤ワインと同じく動脈硬化や脳梗塞を防ぐ抗酸化作用があるとされるポリフェノールが多く含まれる。

花言葉は「壮大」。



## キンレンカ (金蓮花)

南米原産でノウゼンハレン科ノウゼンハレン属の一年草。別名は科名でもあるノウゼンハレン(凌霄薔蓮)で、花がノウゼンカズラに、葉がハスに似ることから名付けられた。

日本には観賞用として江戸時代に入ってきたが、葉はクレソン(オランダガラシ)に似た辛味があって食用にもされる。ツボミや花も食用になり、未熟果はピクルス(西洋漬物)になる。

花言葉は「愛国心」。



## リュウキュウバライチゴ (琉球薔薇苺)

房総半島西部から南西諸島、国外では朝鮮半島南部や台湾に自生するバラ科キイチゴ属の落葉低木。別名はオオバライチゴ。

果実は他のキイチゴ属と比べて大きい。

以前は島に自生していなかったが、渡り鳥が運んできたのか、数年前から見られるようになった。花言葉は不明。



### 編集後記

東北地方太平洋沖地震で津波が発生した。被害の全容把握は未だ不明で、復興には途方もない時間が必要だろう。

わたしの能力では、犠牲者、被災者にかける言葉を見つけれない。ただ、水や食糧、燃料、衣料、医薬品などになる現金を「できる範囲で届けよう」と自分に言い聞かせた。

津波は単なる波ではなく、海面上昇と同時に分厚い海水のかたまりが凄まじい速さで地滑りのように休むことなく連続して襲ってくるのだ。

テレビ画面の惨状を見て、喜界島に置き換えて考えた。水道が止まり地下水が濁るのでは？ 庁舎は？ 現場職員や自主防災組織の初動体制は？ すべての町民サービスの基礎となる戸籍、住民基本台帳、土地台帳などの保全は？ あらゆる通信手段が途絶した場合、衛星電話の台数は？ 離島ゆえに外部からの融通送電が不可能な電気は？

また、災害時に最も重要な町指定避難場所は、海に近い小学校がほとんどである。家屋倒壊だけでなく津波も想定するならば、早急な全面見直しと周知が必要となる。

今回の震災はわたしたちの問題であり、今さらながら様々なことを考えさせられる。

(植村)

校長：田畠 悦子（第29代）、児童数：12人、教職員7人  
 （児童数は4月1日時点予定）

# 阿 阿伝小学校

母校訪問 おもしろいでは永遠に①

母校とは、その名のとおり、われわれが巣立った場所であり、地域の母体でもある。子どもたちにとっては、学校での体験や教師、級友らが彼らの世界のほとんどであり、成長してからは、郷愁や青春、そして「ふるさと」そのものであろう。

その母校である島内の小中学校は、来年3月にすべて閉校となり、その翌月から再編されて、新しく小学校2校、中学校1校へと生まれ変わる。

今月号から、今ある母校の姿をお届けしたい。



〈児童の特長〉

はきはき、にこにこ、きびきび、学年の差がなく元気。物怖じせずに発表も堂々として表現力もある（神田之弘前校長）。

【児童数の推移】

年度	明治35	37	昭和21	38	44	50	54	58	63	平成5	8	10	14	17	20	22
児童数	121	157	222	108	69	47	36	39	22	20	15	10	9	13	13	9

※平成14年度からは、特別入学認可制度により、他地区からも入学・編入可能

学校概要

阿伝小学校の前身は明治35年1月、東尋常小学校阿伝分教場として開校。同年6月に阿伝尋常小学校となった（児童数121人、教員2人）。

その後、湾村（喜界村）との合併・分村による名称変更や早町尋常高等小学校の分教場になるなどしながら、数度の名称変更を経て、昭和16年に阿伝国民学校、昭和23年に早町村立阿伝小学校、そして昭和31年の町村合併により現在の喜界町立阿伝小学校となった。この間、昭和20年には戦災で校舎を全焼している。

現在では、小規模校の特色を生かしながら地域に密着し、「みんなが主役の阿伝小」を合言葉に、全国最優秀賞を受けた少年消防クラブ活動や阿伝集落に多く残され



80キロのキビをパンダにプレゼント



授業風景（2年生・昨年度）



児童たち（昭和11年）  
 背後には木造漆喰瓦葺きの校舎

ているサンゴの石垣の保全活動、全児童の三味線修得などを行っている。さとうきび栽培も行っており、4月1日に上野動物園で一般公開されたパンダ、リリーとシンシへ、さとうきび80キロをプレゼントし、卒業証書には、さとうきびの搾りかすで作った和紙を使うなど、他校にはない独自色あふれる教育活動をしている。



終戦直後の校舎（石垣に茅葺き屋根）

校歌

作詞 勝 常三  
 作曲 涉 秀豊

一 東海の空 明けわたり  
 常磐の山の かがやけば  
 ここ高森に 高く立ち  
 希望はおどる 阿伝校  
 平和をかざし はげみ合い  
 なりわいしげき

二 わが郷の 歴史のはなは  
 とこしえに 吹く南風に  
 かおるなり

三 真砂の浜に 身をあらひ  
 いたく雄図は 洋々と  
 太平の海 はるけくも  
 はばたく健児 意気高し  
 聞け隔世の かねの音を  
 学びの山に なりひびく  
 月の世界に 至るまで

四 登り究めん 文の道  
 栄えいやす 学園は  
 万代の世声 人の声  
 波の調べと もろともに  
 幸先歌う 阿伝校

五